



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

チュニジア：大統領選挙の立候補者リスト

9月30日、独立最高選挙機構（選管）は、11月23日に行なわれる大統領選挙への立候補者として27名を承認した。下記表に、27名の氏名、及び現所属と過去の主要な経歴を示した。

- ・大統領任期 5年、再選2回まで
- ・選挙運動 11月1～21日（海外9月30日～11月19日）
- ・投開票日 11月23日（海外11月21～23日）
- ・過半数票を獲得した候補者がいない場合、上位2名によって決選投票が行われる。決選投票は、第1回投票の結果が発表された日から2週間以内、かつ2014年12月末日までの日程で行なわれる。

	氏名	現所属、過去の主要な経歴など
1	ムハンマド・ハーシミー・ハームディー	愛の潮流創設者；ジャーナリスト
2	アラビー（ラルビー）・ナスラ	チュニジア人民の声党首
3	バージー・カーイド・スィブスィー	チュニジアの呼びかけ党首；首相（2011）；国会議長（90-91）；外相（81-86）
4	アフマド・サーフィー・サイド	無所属；ジャーナリスト；「アラブの春」名付け主
5	アフマド・ナジブ・シャーッビー	共和国党；地方開発相（2011）
6	ムスタファー・カーミル・ナーブリー	無所属；前チュニジア中銀総裁
7	ハンマ・ハマミー	人民戦線代表
8	サリーム（スリーム）・リヤーヒー	自由愛国同盟党首；実業家
9	ムスタファー・ベン・ジャアファル	制憲議会議長；タカトル党首
10	ヌールッディーン・ハシャード	無所属；人権・基本的自由最高機構議長（11-12）；アラブ連盟副事務局長（01-06）、駐日本大使（07-11）ほか
11	アブドゥルラウフ・アイヤーディー	忠誠運動党首；前共和国会議党首
12	アリー・シューラービー	無所属；控訴裁判所判事
13	ムハンマド・ハームディー	民主同盟党首
14	アブドゥルラヒーム・ズワリー	法相、外相、教育相、スポーツ相（90～00年代）；元立憲民主連合幹部
15	ムハンマド・ムンスィフ・マルズキー	大統領；共和国会議名誉党首
16	アブドゥルカーディル・ラバーウィー	無所属；公共サービス・行政透明化連合会長

17	カルスーム・カンヌ	無所属；女性；前チュニジア判事協会会長
18	カマール・ムルジャーニ	イニシアティブ（ムバーダラ）党首；外相（10-11）；国防相（05-10）
19	ムハンマド・ファリーハ（フリーハ）	無所属；前Telnet社CEO；Syphax Airlines創設；ナフダ党の後援あり
20	ムンゼル・ザナーイディー	無所属；運輸相、貿易相、保健相など（94～2011）
21	サミール・アブディリー	無所属；弁護士
22	ヤースィーン・シャンヌーフイー	無所属；実業家
23	アブドゥルラッザーク・キーラーニー	無所属；弁護士；制憲議会担当相（11-13）
24	メヘレズ・ブーサイヤーン	無所属；弁護士
25	サーリム・シャーイビー	人民会議党首
26	ムフタール・マージュリー	無所属；国際人権監視団大使
27	ハムーダ・ベン・サラーマ	無所属；スポーツ相（87-91）；社会主義民主運動創設

評価

制憲議会内で最大会派のナフダ党（全217議席中89議席）は大統領選挙に公認候補を擁立せず、議会選挙に専念している。同党は、政治勢力間で対話の上、超党派の人物を大統領候補に擁立すべきとの立場であったが、そのような対話は結局実現しなかった。2011年12月から2014年1月まで続いたナフダ党を中心とする連立内閣（トロイカ）の期間にイスラーム主義と世俗派の政治対立が深まった教訓を踏まえ、同党が大統領ポストを獲得すれば対立が再発しかねないとの懸念から、公認候補の擁立を見送ったと考えられる。ただしムハンマド・ファリーハ候補は、事実上、ナフダ党から支持を得ている候補である。

ナフダ党候補なき候補者リストを一瞥して最も目立つ特徴は、ベン・アリー時代に閣僚経験のある候補者の多さである。その筆頭にあげられるのは、チュニジアの呼びかけ党（Nida' Tunis）の党首で、国会議長や外相経験のあるバージー・カーイド・スィブスィー（87歳）である。チュニジアの呼びかけ党は、ナフダ党の人気低下と反対に支持率を上げてきており、議会選挙（10月26日投開票）でも最大得票党となる可能性が高い。したがって、スィブスィーは最有力候補とされている。

世俗派野党はベン・アリー時代の政治家の再来に危機感を表明し、自由、人権、民主主義、社会的公正といった理念を掲げるが、国民からの支持はきわめて低い。小党分裂、政党連合の頻繁な組み換えによって国民からの認知度が低いことに加え、国民の要求である経済・治安・生活の安定という問題に明確な対策を出せていない。こうした支持低迷に悩む世俗派野党には、ナフダ党と共に連立内閣を形成していた共和国会議党（マルズーキー候補・現職大統領が所属）やタカトル党（ベン・ジャアファル候補・現制憲議会議長が所属）も含まれる。

（金谷研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799